

卒業時調査の報告：2022年度版

島根大学では、毎年卒業生を対象とした、「卒業時調査」を実施している。同調査では、在籍時や就職等の満足度に加えて、卒業時点までに得られた能力への自己評価を問うている。本紙では、アンケート結果を用いて、島根大学の学修成果を報告するものである。

1. 調査の概要

①実施期間

2023年（令和5）年2月～3月

②調査対象者と有効回答率

2023年3月に本学を卒業した学生1175名を対象にアンケートを実施し、186名の回答を得た。有効回答率は、15.8%である。

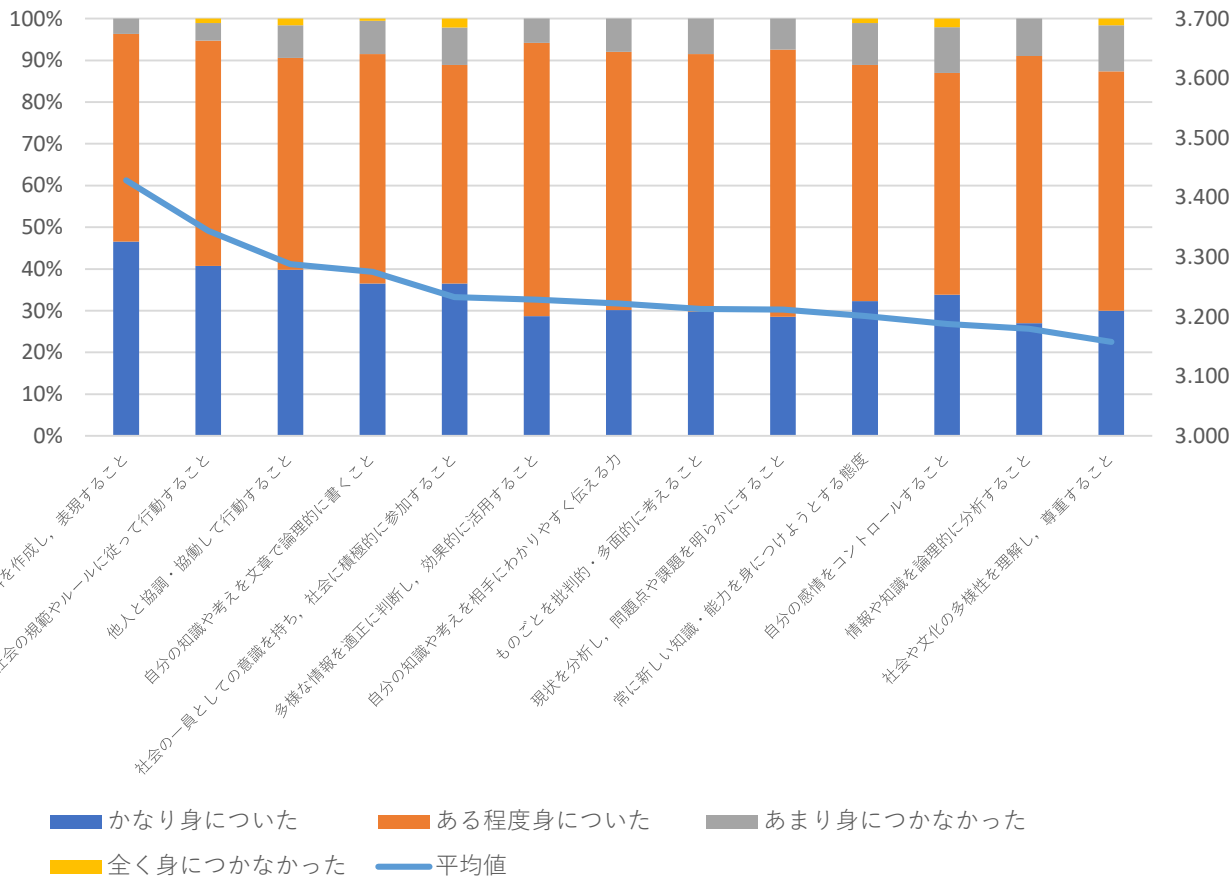
③調査方法

ウェブのアンケートシステムでアンケートを実施した。日本語に加えて、英語での回答が可能となる環境も整備している。

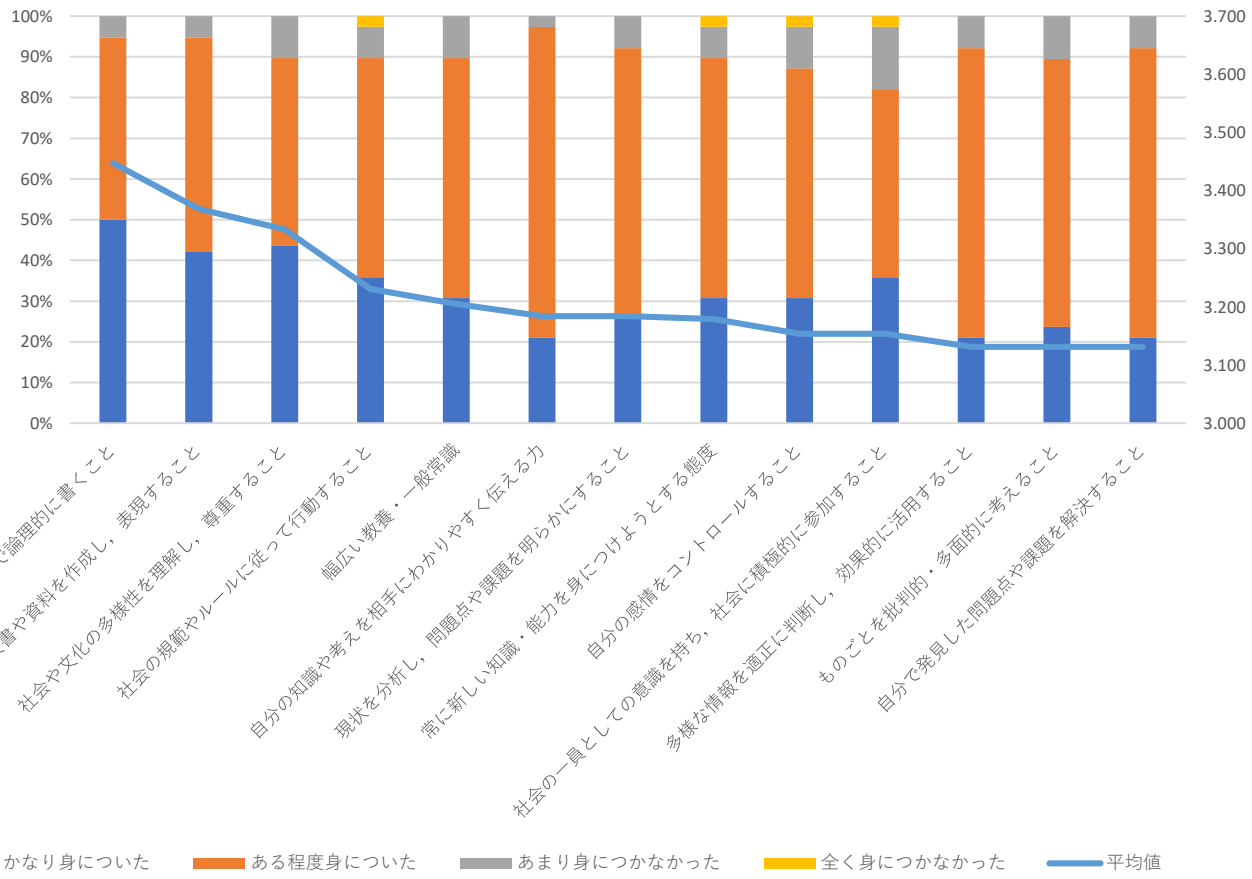
④集計の方法

卒業時の自己の能力感について、25の項目で、「かなり身についた」～「全く身につかなかった」を自己評価してもらう設問を設定している。その中の上位13項目について、回答の分布及びその平均値を提示している。平均値の算出は、「かなり身についた」を4、「全く身につかなかった」を1と定めて、各項目の平均値を算出している。

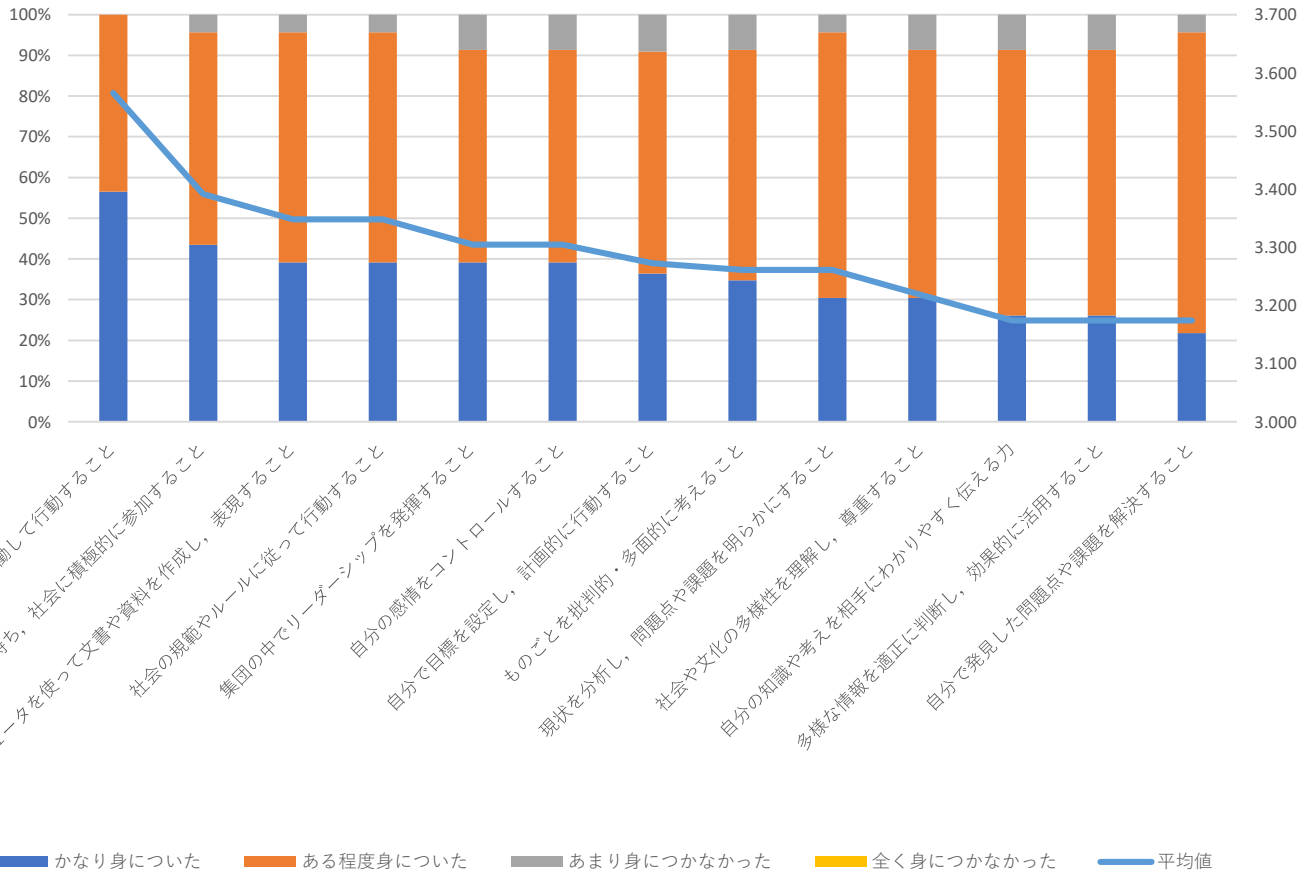
全体



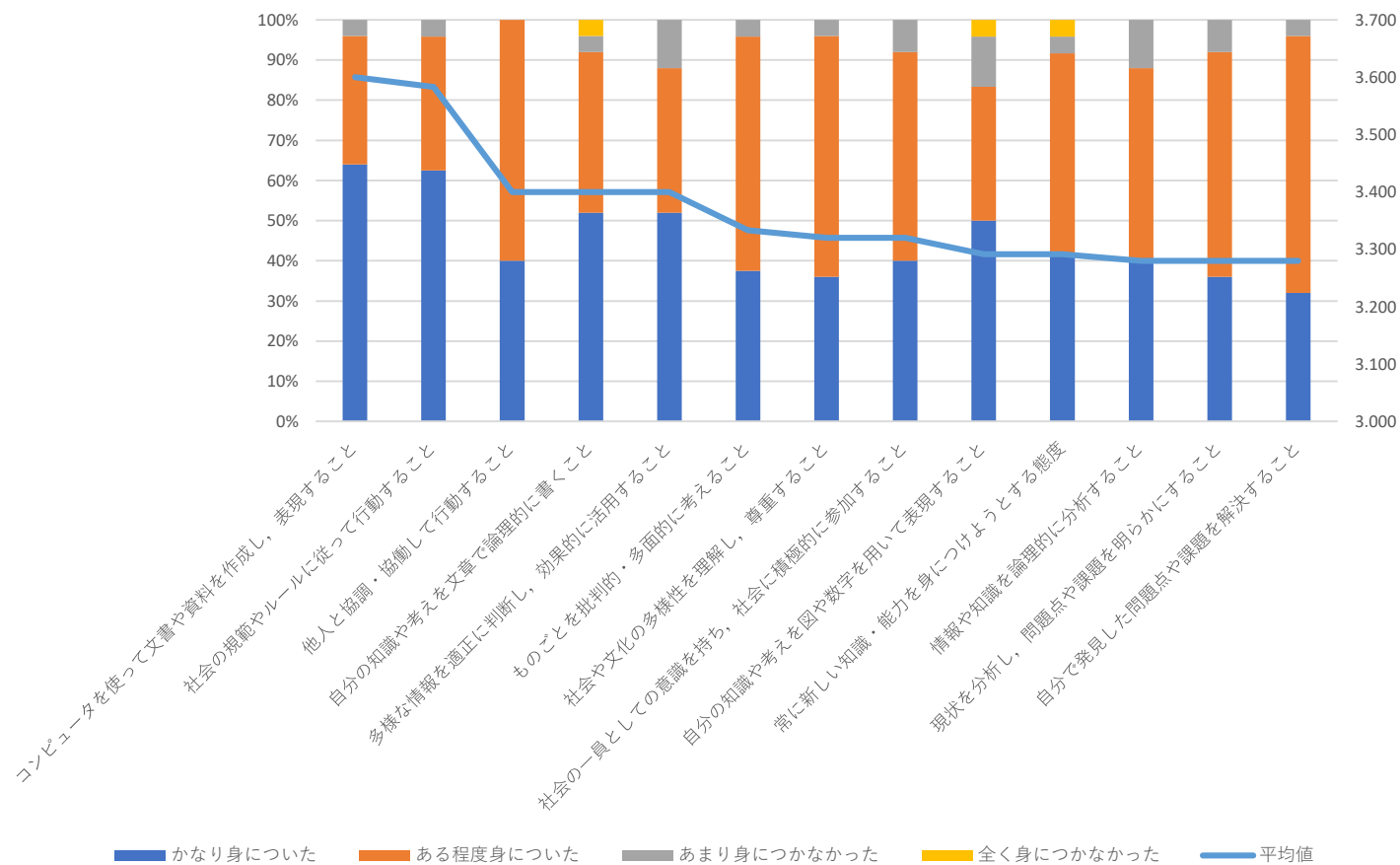
法文学部



教育学部

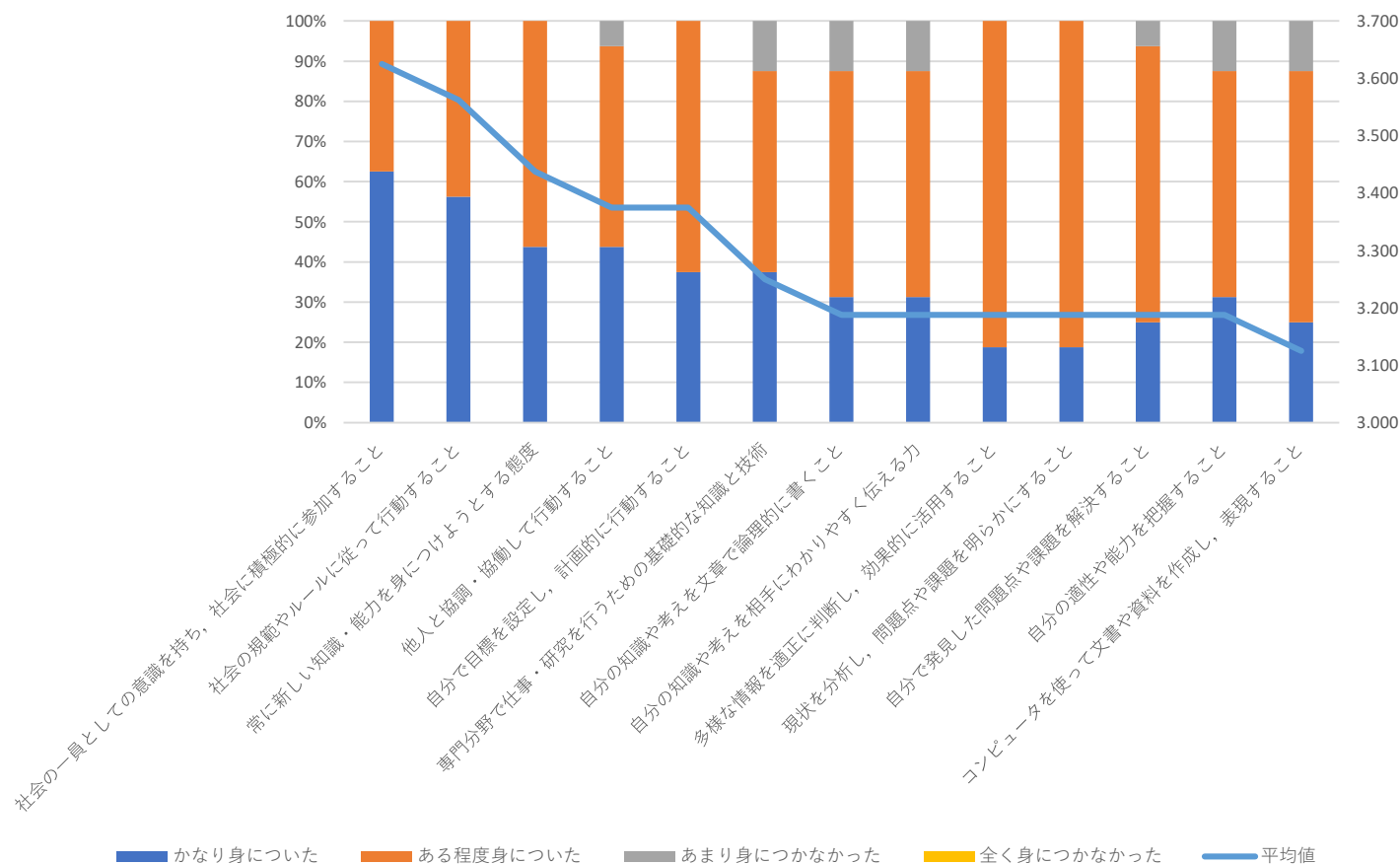


人間科学部



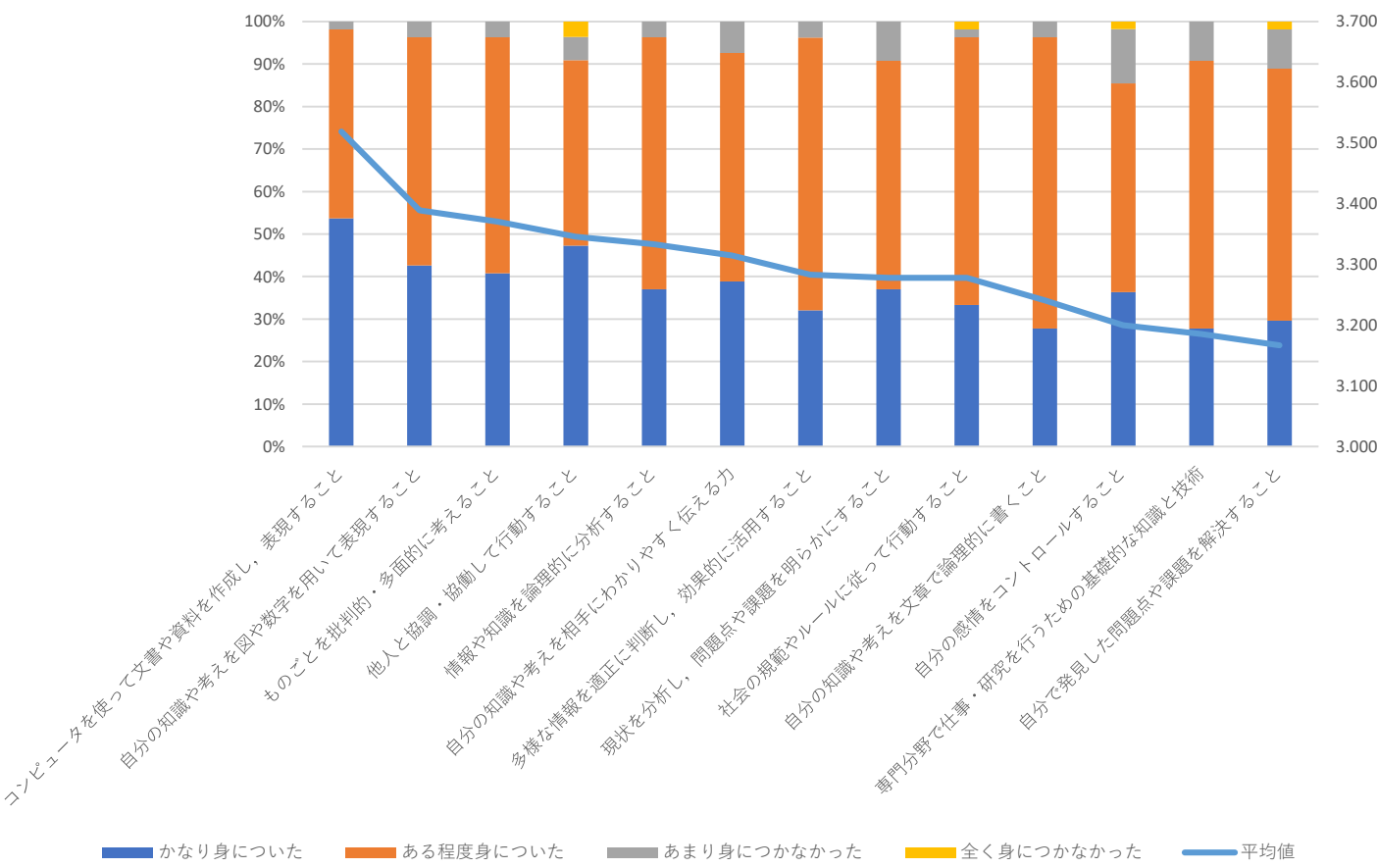
■ かなり身についた
 ■ ある程度身についた
 ■ あまり身につかなかった
 ■ 全く身につかなかった
 — 平均値

医学部



■ かなり身についた
 ■ ある程度身についた
 ■ あまり身につかなかった
 ■ 全く身につかなかった
 — 平均値

総合理工学部



生物資源科学部

